



第 2 1 回記録員コンテスト

県記録委員会・記録員コンテスト実行委員会

平成28年11月6日(日)快晴の三島市長伏運動公園野球場にて、チャブ保険カップ争奪第47回静岡県父親ソフトボール大会第一試合、香貫小学校区(沼津)対豊田小学校区(焼津)との熱い戦いにおいて標記のコンテストが行われた。

公式記録員の資質と記録技術の向上を図り、優秀な記録員の発掘とリーダーの育成、および支部間の記録員の交流による県内記録員のレベルアップを図る事を目的とし、開催を続けている。記録員コンテストは第1種から第3種の記録員が混在して参加するにあたり、第2種、第3種の記録員にはハンディキャップを設けている。

採点は記帳の基本となる記号、選手交代の記号、補殺・刺殺は正確に守備者を記帳できているか等ポイントを選んでメインの採点を行い、さらに服装や集計時間などの加点を含めた合計点で順位を決定する。

今回のコンテストは集計会場が離れているため、試合終了直後スコアカードを一旦回収し食事休憩の後、再配付して集計を行う変則的な進め方でしたが、問題なく終了することができた。結果は、12月17、18日富士支部で行われる第1種受験を目指し日々努力を重ねている富士支部米村裕治さんが優勝、二位には遠路西部地区より参加の袋井支部久保雅嗣さん、三位には長泉支部遠藤浩二さん、努力賞は開催地三島支部の矢後圭一さんが入った。

表彰式では加藤実行委員長より、順位は僅差で決まり参加者の『レベルの高さを実感できたコンテストでした』とのコメントがあった。



受賞者の皆さん



観覧席で記帳を行う参加者



解説を行う加藤実行委員長



講評を行う池田県記録委員長



緊張感の漂う集計



模範記帳は佐藤記録委員（長泉支部記録長）